

カリキュラムポリシー（教育方針）

経営情報学部

（1）経営情報学科

経営情報学科では、学生自身の興味・関心・得意分野を活かして進むべき道を発見しやすくするために、経営、会計、情報、英語、経済・法律、起業家の6つのコースを設置し、経営を多面的・体系的に修得できるカリキュラムを組んでいます。また、本学科では教職課程を設置し、高等学校一種（商業・情報）の教員免許の取得が可能です。

経営コースでは、経営学の基本科目を中心に学び、企業経営の中心となるあるいは支援できる人材を育てます。

会計コースでは、簿記や会計学の基本科目を中心に学び、企業の財務・会計に関わる人材を育てます。

情報コースでは、情報科目を中心に学び、企業の情報化について高度な知識を持つ人材を育てます。

英語コースでは、ビジネスのグローバル化に対応して英語に強いビジネスパーソンを育てます。

経済・法律コースでは、経済学や法律に関する科目を中心に学び、経済や法律に強いビジネスパーソンを育てます。

起業家コースでは、起業に関する科目を中心に学び、起業できる人材を育てます。

このように本学科では、現代の競争社会において「生きる力」を養い、将来企業全体を捉えて経営を展開できる経営者意識を持った人材を育成していきます。

経営コース

経営コースは、昨今のような複雑化する経済社会によりダイナミックに変化する経営組織体についての理論と実践を体系的に修得することで企業経営の中心となる人材育成を目指しています。

コース必修科目として、「経営学総論」を設置し、経営学を多面的、総合的に捉えることで経営の基礎知識を身につけます。

コース選択科目として、「企業論」、「マーケティング」、「流通論」、「多国籍企業論」などを設置し、経営学における各論や経営に関する法律を中心に学ぶことで、より高度で多様な経営知識を身につけます。また、経営に関する検定試験に直結した科目として「販売と経営」を設置し、企業経営における実践的知識を修得します。

このように、経営についての知識を多面的・段階的に捉えて修得することで経営者意識を持った人材を育成するとともに、競争社会を生き抜く力を養います。

会計コース

会計コースは、会計知識に精通した企業経営の中核となる人材を育成することを目標とす

るほか、税理士・公認会計士などの会計専門職の養成、会計大学院の進学などを目指しています。

学科共通必修科目である「簿記会計」とどまらず、コース必修科目として「財務会計論」を設置することにより、国際財務報告基準(IFRS)導入により今後重要性がますます増加する会計理論を身につけます。また、コース選択科目として「コンピュータ会計」を設けることにより、会計のIT化にも十分対応しています。

さらに、税理士・公認会計士などの会計専門職を目指す者に対しては、その登竜門となる日商簿記1級・全経簿記上級レベルに対応した「簿記特講」を選択科目として設けるとともに、課外指導を行う簿記学習センターを設置することにより、会計のプロとなる人材を養成しています。

情報コース

AI・IoTなどの技術革新による Society5.0 においては、その社会変化のスピードは速く、具体的にどのように変わっていくのかを予測することは困難です。しかしながら、このような状況においても基礎的素養に位置付けられるスキルは存在します。次世代に求められる素養といえども、現存するスキルと全く無関係ではありません。例えば、AI は情報科学の産物であり、その実装は情報技術で実現されています。

情報コースは、上述した情報技術を用いる職種の一つであるシステムエンジニア・プログラマの育成を目指しています。その職能を身に付けるために「情報化リード」、「システム設計論」、「システム開発論」、「プログラミング」などを設置し、Society5.0 を生き抜く力の素地も同時に涵養します。

また、初年次教育では、コンピュータを仕事にいかすために「コンピュータリテラシー」、「情報リテラシー」などの基礎的スキルを習得するための科目を配置しています。

英語コース

経営情報学部の学生特有のニーズや興味関心に対応したきめ細かな指導で、実社会で求められる実用的な英語力を身につけます。コース選択必修科目には「ビジネスイングリッシュ」、「異文化コミュニケーション」、「オーラルイングリッシュ」などを設置し、国際社会で役立つ英語運用能力の涵養を目指します。コース選択科目として「ディベート」、「通訳・翻訳演習」などを設置し英語で交渉する力、英文を読み書きできる力を備えた、ビジネスの世界で即戦力となりうる人材を育てます。また、「英語総合演習」では、英語関連の資格試験対策を行い、実践的能力の獲得を目指します。「海外英語実習」では、アメリカ合衆国での英語研修を行い、現地の教育施設での英語レッスン・見学を通して国際感覚を身につけます。英語教職課程においては、中学校・高校および、その他の教育機関での英語指導者の育成を行います。

経済・法律コース

経済・法律コースは、社会の推移を予測して、社会で活躍できる人材を育成することを目標としています。

社会の基盤及び枠組みは、経済と法律です。そのため、社会で活躍できる優秀なビジネスマンを育成するには、経済と法律の知識を涵養することが不可欠です。

経済と法律を中核に据えた本コースを履修することは、クリティカルな思考力の育成になり、問題解決力や応用展開力などが養成されます。

起業家コース

起業家コースは、卒業後や在学時に起業をし、企業経営者として地域あるいは経済社会に貢献できる人材の育成を目標としています。このため、本コースにおいては「起業基礎」、「起業応用」といった起業に関する科目を必修とし、コース選択必須科目として「財務会計」、「ビジネスプランニング」、「アントレプレナー論」、「経営戦略論」等を設置し、広く経営全般についても学びます。

優れた企業業績をあげるには厳しい経営環境の中では容易なものではありません。しかしながら、成功させるためにはマネジメントを基礎から学び、ケーススタディや実践を通してセンスを磨くことにより、その目的を果たすことが可能です。